

Wú yǒu bù rú jǐ zhě
 无 友 不 如 己 者
 おのれ し とも な
 己に如かざる者を友とする無かれ

桜美林大学名誉教授 / 孔子学院講師 植田渥雄



孔子の弟子の子夏は、交友関係のあり方に関して、自分の門人たちに次のように教えていました。「可者と之、其不可者拒之(kě zhě yǔ zhī, qí bù kě zhě jù zhī)」「(可なる者は之に与し、其の不可なる者は之を拒げ)〈子張第十九〉。つまり、よい人ならば受け入れ、そうでない人は近づけないように、と。

これに対して、子夏より4歳年少の子張は、この兄弟子を次のように批判しています。「异乎吾所闻。君子尊贤而容衆，嘉善而衿不能(Yì hū wú suǒ wén. jūn zǐ zūn xián ér róng zhòng, jiā shàn ér jīn bù néng)」「(吾が聞く所と異なれり。君子は賢を尊びて衆を容れ、善を嘉して不能を衿れむ)。それは私が先生から聞いていることと違う。君子は優れた人物を尊敬すると同時に、そうでない多くの人たちをも受け入れるものだ。良い人と交わりを結ぶと同時に、出来の悪い人をも憐れんで手を差し伸べてやるべきだ、と。

そしてさらに続けて、「我之大贤与，于人何所不容？我之不贤与，人将拒我，如之何其拒人也？(Wǒ zhī dà xián yú, yú rén hé suǒ bù róng. Wǒ zhī bù xián yú, rén jiāng jù wǒ. Rú zhī hé qí jù rén yě)」「(我の大賢ならんか、人に於いて何ぞ容れざる所あらん。我の不賢ならんか、人將に我を拒がんとす。之を如何ぞ其れ人を拒がん)〈子張第十九〉。もし私が偉大な賢人ならばみんなが受け入れてくれるだろうし、そうでないならば相手の方から去っていくだろうから、敢えてこちらから遠ざけることはない、と言っています。

孔子より48歳年少の、気鋭の若者らしい高邁な意見です。事実、孔子は子張に対して、「寛則得衆(Kuān zé dé zhòng)」「(寛なれば則ち衆を得ん)〈陽貨第十七〉。寛大な心で臨めば多くの人々の心を得るこ

とができる、と教えています。

また、自ら望む者にはすべて教育を施す、というのは孔子のモットーでもありました。「自行束脩以上，吾未尝无海焉(Zì xíng shù xiū yǐ shàng, wú wèi cháng wú huǐ yān)」「(束脩を行う自り以上は、吾未だ嘗て誨うる事無くんばあらず)〈述而第七〉とも孔子は言っています。

「束脩」とは、干肉十本を一つに束ねたもので、入門の際に収める礼物の一つでした。礼物のランクは貧富の別によって違っていて、束脩は最も低いランクのものです。つまり最低限の授業料を支払った以上は、相手が誰であろうと教えないということはなかった、というのが孔子の生涯を貫く教育方針でした。

ちなみに後世この束脩という言葉は月謝とか授業料という意味に使われるようになりました。それはともかくとして、この点から見れば、兄弟子に対する子張の批判は道理にかなっているように思えます。

しかし「寛なれば則ち衆を得ん」は人を指導する立場に立った時の君子の心得を言ったものです。しかし、心を許す友人を選ぶとなると話は別です。友人を選ぶ基準については『論語』では多くのことが語られていますが、その中から一つだけ選んでみましょう。

「主忠信，无友不如己者(Zhǔ zhōng xìn, wú yǒu bù rú jǐ zhě)」「(忠信を主とし、己に如かざる者を友とする無かれ)〈学而第一〉。誠実と信用を第一に考え、その点で自分より劣っている者を敢えて友達にしないように。以後、この言葉は日中両国の人たちにとって友人選びの目標となりましたが、今ではどうでしょうか。

友人選びの道は、君子の道とはまた違った意味で、やはり険しいようです。

(わりい「中国語で読む漢詩の会」講師)